

SKCC Straight Key Sprint Asia (SKSA)

SKSA は、SKCC のオリジナル・イベントである SKS – Straight Key Sprint コンテストをベースにした、アジア圏主体のオンエア・イベントです。すべてのアマチュア無線家の皆さんは、いずれのQTHからでも、SKCC のメンバーあるか否かを問わず、参加頂けます。SKCC SKSA ホームページの上部にあります【*Submit Score*】をクリック頂き、SKSA で獲得したスコアを簡単に提出頂くことができます。JA 局以外も参加していますので、コメント等は是非とも英語で記載頂けますと幸いです。また、お使いのリグやアンテナ、電鍵などの写真は、言葉の壁を超えて SKCC メンバーと共有されますので、是非とも画像の投稿もお願いします。

SKSA は、国際標準時間 (UTC) 毎月第 2 金曜日の 2200Z~2359Z にて開催されます。日本時間では、多くの場合第 2 土曜日の午前 7~9 時の開催となりますが、時差の関係から必ずしも第 2 土曜日とはならず、1 週間後することもありますので、開催日にはご注意ください。

2022 年内の予定

September 9th (FRI)	- UTC 2200-2359	／ 日本時間 9 月 10 日 (土) 0700-0900
October 14th (FRI)	- UTC 2200-2359	／ 日本時間 10 月 15 日 (土) 0700-0900
November 11th (FRI)	- UTC 2200-2359	／ 日本時間 11 月 12 日 (土) 0700-0900
December 9th (FRI)	- UTC 2200-2359	／ 日本時間 12 月 10 日 (土) 0700-0900

なにかご質問、ご意見などありましたら、sksa-manager【あっとまーく】skccgroup.com までご連絡ください。当宛先メールは、わたくし HIRO, JJ1FXF が読んでおりますので、日本語でお送り頂いても結構です。

SKSA Rules and Scoring ルールとスコア計算の仕方

SKSA のルールとスコア計算の仕方を、以下に解説します。一部のルールは、オリジナルの SKS とは異なりますが、その場合 SKSA のルールが優先されます。

Eligibility:

参加資格:

SKSA は、すべての国々のすべてのアマチュア無線ライセンスを持つ無線局に参加頂けます。但し、SKCC メンバーの参加においては、SKCC の使用電鍵ポリシーに従い、縦振電鍵、バグキー、複式電鍵といったメカニカル・キーを使用することを義務付けております。SKCC メンバー以外の方々は、エレキー、パドルをご使用頂けますが、本オンエア・イベントの趣旨をご理解頂き、願わくば上述のメカニカル・キーでの参加をお願い致します。

Suggested Frequencies:

推奨周波数:

SKSA はコンテスト形式でありますことから、WARCバンドの使用は認められません。皆さんの免許範囲の中で、以下の周波数（±5kHz 程度）での運用を推奨します。但し、周波数が混雑する等の場合、各自の判断で前後の周波数をご利用ください。（訳者注：日本では 7040kHz 以上はデジタルモードで利用されていますので、7MHz に限っては 7039kHz 以下での運用をお願いします）

160M : 1813.5kHz

80M : 3550kHz

40M: 7038kHz (推奨)

20M : 14050kHz

15M: 21050kHz (推奨)

10M : 28050kHz

6M: 50090kHz

SkedPage:

SKSA 参加局の見つけ方:

オリジナルの SKS では許可されていませんが、SKSA では交信相手を見つけるため、SKCC が提供する SkedPage - <https://sked.skccgroup.com/> の利用が可能となります。これは、いまだ数が少ない SKCC アジア圏メンバーが互いを見つけるため、また米国や EU の SKCC メンバーに見つけてもらうため、今回特別に SKCC より許可されたものとなります。また、CW Club RBN Spotter - <https://rbn.telegraphy.de/> 等、他の Spotting 情報を活用することも許可されています。

Exchange:

エクスチェンジ :

CQ は、オリジナル SKS 同様、“CQ SKS” とします。CQ SKS に応答する局は、できるだけ同じ送信速度での応答をお願いします。

基本的なエクスチェンジは、RST, SPC, NAME, SKCC NR となります。以下に、SKS にて良く聞かれる電文事例をあげます。

①569 JPN HIRO 22608C

②GM TAKA SAN 569 JPN HIRO 22608C GL

③GM RICO SAN UR 569 in JPN HR OP is HIRO es MY NR is 22608C GL

（訳者注）コンテスト形式である SKS では、上記①のような比較的短い電文が良く聞かれますが、既に知っている局に遭遇した場合など、②や③のような長い電文も聞かれます。また、最後も 73 のみならず、“HVE GUD DAY” や “GL SKS” など簡単なお別れの言葉を送るのも宜しいかと思えます。

注意点としまして、RST は一般的なコンテストのような “5NN” の決め打ちとせず、真の RST レポートを送るよう心掛けてください。

SPC は、State (米国の州名)、Province (カナダの地域名)、Country (国名) を示す、2桁ないしは3桁の英字です。(国名は、日本 “JPN”、オーストラリア “AUS”、ニュージーランド “NZL” など3桁ですが、米国は州名となり、カリフォルニア “CA” やニューヨーク “NY” 等を送ってきます)

SKCC NR は、SKCC の会員ナンバーで、数字 1～5 桁と、その中でもアワード獲得済メンバーは最後に “C” (Centurion)、“T” (Tribune)、“S” (Senator) といった英数字 1 文字 (訳者注: endorsement エンドースメントと呼びます) で構成されます。SKCC の会員でない方は “NONE” を送ってください。

Entry Categories:

参加カテゴリ:

シングル・オペレータ: 以下の4つの参加カテゴリがあります。

QRPP (1W 以下)、QRP (5W 以下)、QRO (100W 以下)、QRO+ (100W 超)

マルチ・オペレータ: 2人以上のオペレータが2台以上の無線機で参加するカテゴリには送信出力の違いによるカテゴリはありません。

Scoring:

スコア計算:

1回の QSO は『1 ポイント』としてカウントします。バンドが異なれば、同一局との QSO も +1 ポイントとして計上します。マルチは SPC (上述) となり、すべてのバンドの QSO において、異なる SPC を 1 マルチとして計上します。

ボーナスポイントとして、SKCC NR に “C”、“T”、“S” (endorsement) が付記される局との QSO は、すべてのバンドにおいて1回だけ、“C” ならば『5ポイント』、“T” ならば『10ポイント』、“S” ならば『15ポイント』が計上できます。(訳者注: 異なるバンドで同一ボーナスポイント局と QSO した場合、QSO ポイントは+1 計上できますが、ボーナスポイントは1回だけ計上可能になるという意味です)

SKSA ホームページの上にある【Submit】リンクをクリックして、QSO ポイントの合計、任意のコメント (英語)、任意の写真を提出してください。【Submit】リンクは、SKSA 終了後 72 時間 (3日間) 以内にアクティベート (公開) されます。また、SKSA マネージャーが要求しない限り、ログの提出は必要ありません。

SKCC メンバーでない方々は、自身の SKCC NR には、“NONE” を入力してください。

スコアの修正が必要な場合や、後でコメントや写真を追加したい場合なども、すべての入力項目を入力し直し、再提出してください。

Submission:

スコア提出:

SKSA マネージャから要求のない限り、ログ自体の提出は必要ありません。スコアは、SKCC SKSA ホームページの上部にある【*Submit Score*】リンクより提出してください。スコア提出は、SKSA 終了後、次の日曜日までに完了する必要があります。再提出も、同様にこの期間内においてのみ可能です。再提出は、訂正箇所だけでなく、すべてのデータを再入力する点、ご注意ください。

以上